4. 水確保以外の個別事業メニュー案

4-1 湿地の保全をするための環境づくり

湿地環境を保全・再生し、豊かな生態系を創出するための事業メニューを以下に示しました。

項目名	内容	イメージ図
エコトーン化	水鳥が水辺を利用でき、エキサイゼリなど湿生植物が生育する場を再生させるため、水際を緩傾斜で掘削する。傾斜としては1/10程度とする。	
ワンド	開放水面を拡大し、ヒシやメダカなどの水性動植物の成育・生息環境を再生するため、旧流路とつながる池を掘削する。水際部は緩傾斜としてエコトーン化する。	
浅水域	サギ類の餌場として利用でき、ミクリなど抽水植物が生育する場を再生させるため、河岸部に水深の浅い部分を掘削する。水深は10cm~30cm程度とする。	
中水敷（乾燥地の掘削）	ハンノキなど湿性林が発芽・生育するために適した、湿潤な湿性を再生する。当該地の地下水位を考慮し高水敷の掘削を行う。	
池水位・水質の維持	カワセミの餌となる魚類が生息できる水位や水質を維持・改善するために池の堆積物の除去（浚渫）を行う。 水位の維持に関しては前回協議会の「水確保の事業メニュー」での合意事項に従い検討を行う。	
河畔林の保全・管理	攪乱・更新がなされるハンノキなどの河畔林を再生する。適切な植生密度を保つためハンノキの壮齢樹や竹林などを伐採管理する。	
水鳥の隠れ家（生息場所）	サギ、カワセミの隠れ場所や営巣の場として、捕食者（タヌキやキツネなど）が侵入しない、ワンド内に島を造成する。また、造成したエコトーンやワンドなどに、水鳥が安全に休息できる場所や休息場となる杭等の設置を行う。	